

学校運営協議会（ 第1回 ）議事録

校名	府立大阪北視覚支援学校
校長名	永田 美穂子

開催日時	令和8年7月16日（木）9：35～11：20
開催場所	大阪府立大阪北視覚支援学校 同窓会館1階
出席者(委員)	山本利和、猪俣則広、亀甲孝一、佐々木一男、新開眞琴、三好明子（敬称略）
出席者(学校)	永田(校長)、岸尾(教頭)、造田(教頭)、眞野(事務長)、小倉(首席)、熊谷(首席)、滝口(首席)
欠席	なし
傍聴者	なし
協議資料	令和8年度 学校経営計画及び学校評価 令和8年度使用教科書採択について
備考	

議題等(次第順)	
1 挨拶 2 学校運営協議会委員の確認 3 会長・副会長の確認 4 協議案件・報告 （1）令和8年度 学校経営計画について （2）教科書選定について 5 委員からの提言など 6 挨拶 7 連絡	
協議内容・承認事項等（意見の概要）	
1 体育大会やFV大会の優勝、弁論大会、各種校外学習を児童生徒が協力して成功させ、保護者とも喜びを共有できた。今後も協力を得ながら、築いてきた教育を継承していく。	
2 省略	
3 会長：山本利和 副会長：新開眞琴	
4 令和8年度 学校運営計画について（校長 永田より説明） （1）めざす学校像について ●教育活動の充実 ●安全・人権教育の推進 ●地域支援 ●専門性の維持・発展 ●教職員の働き方改革 （2）教科書選定について（概要説明）	
5（委員からの提言） ・視覚に障がいのある児童生徒が社会で自立して生きていくために高い目標を持ってほしい。 ・地域に学ぶ視覚障がいもある児童生徒との交流や校内の学部間交流をさらに深めてほしい。 ・スマートフォンが生活に欠かせない時代、子どもたちのICT活用をさらに進めてほしい。 ・在籍数の減少は大きな課題ではあるが、支援学校に来れば得られる経験、同じ障がいのある仲間と関わる楽しさ、教員の視点が広がる取り組みを進めてほしい。 ・地域とのつながりを深めてほしい。 ICT活用や教育発信、視覚障がい教育の専門性継承、地域交流の在り方、校舎整備、点字と触れる学びの重要性などについて活発な意見が交わされ、多様な学びと進路を保障しながら学校の魅力と役割を社会へ伝えていく必要性が共有された。	
6 多くの意見と励ましに感謝し、子どもたちの素直さに教員も励まされている。	
7 省略	
次回の会議日程	
日時	令和8年11月24日（火）
会場	大阪府立大阪北視覚支援学校 同窓会館1階